

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔衣料・雑貨〕（店長）	・来客数の増加とともに販売量の増加も見込まれる。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	・宿泊部門は、当ホテル独自の3か月予測の数値において前年をクリアする数値で毎月推移しており、今後は宴会・料飲部門も繁忙期に入る為、好転が期待される。
	変わらない	住宅販売会社（経営者）	・新規マンション発売および新規マンション着工により今後も販売額、販売数ともに増加が見込める。
		百貨店（総務担当）	・年末商戦に期待はするが、現状よりも良くなることは望めない。 ・近日予定されている大型ショッピングセンターオープンの影響も危惧される。
		スーパー（経営者）	・来客数、販売量はやや増加しているが、商品単価がかなり下落しており、結果として売上額ではほとんど変わらない。今後もこの傾向はしばらく続く。
		コンビニ（エリア担当）	・今月は観光客の入域客数の増加により来客数の動きに改善はみられるが、来月以降は予測がつかない。
		衣料品専門店（経営者）	・平均を保っている店と一時的なブームに乗っただけで長続きしない店とがある。いろいろな部分で変化が求められている。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車が10月に発売になることから期待されるが、他の車種の落ち込みについては懸念される。 ・最近車を選ぶ際、価格でなく車の用途、カーライフによって車種を決めるという傾向が強いことから、新車が出された後の効果がどれだけ続くかが懸念される。 ・法人関係からの受注状況が相変わらず悪いことから、今後も特に新しい変化は起こらない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・出版業界は特にメディア等による影響が非常に強い為、最近明るいニュースがない上に政治不安もあり、その影響で客足が減少しているものと予想される。 ・最近比較的に癒し系の本が売れており、また変わらず就職関係の本も売れている。 ・ビジネス関係の書籍の売上は悪くなっている。今後明るいニュースがない限りは景気は良くなる見込みはない。
		高級レストラン（副支配人）	・10月に那覇まつり、大綱引き、そして、琉球まつりと長期的な県をあげてのイベントがあり、来客数が増加する要因はあるものの大きな変化は期待できない。 ・近日、ホテルの閉店閉鎖があり、今後も好転要素がみあたらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これから年末に向かうが、例年に比べて宴会等の受注の動きが鈍い。 ・まだまだ先行きの不透明感がある。 ・来客数は増加してきているが客単価は上がらない。
		旅行代理店（経営者）	・依然として低価格商品を中心とした販売が続く。
		やや悪くなる	一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）
スーパー（企画担当）	・10月に競合店の県内最大規模のショッピングセンターがオープンすることから、現在一段落している価格競争の再燃が危ぐされる。		
コンビニ（経営者）	・年末に向けて銀行の融資状況が悪くなれば、資金繰り等状況が厳しくなることが懸念される。		
コンビニ（エリア担当）	・雇用不安は依然として解決していないようで、ここ3か月間の各店舗の若年層のパートやアルバイトの離職率が低くなっている。		
家電量販店（副店長）	・10月の競合量販店の出店に伴い、来客数は減少し、客の購買意欲は低価格商品に向けられることが予想されることから、今後の状況はますます厳しくなる。		
その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・来客数、売上は増加しているが、安い単価、グループの少人数化、サービスの高度化、営業時間の延長などの高負担による影響で安定した求人がとれず、スタッフにかかる負担が増している。		
観光型ホテル（副支配人）	・予約状況がやや鈍っている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	商店街（代表者）	・近日近隣の地域に大型店舗の集積が予定されており、中心商店街との客の分散化が生じるなど商店街から客が流れることが予想される。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（営業担当）	・昨年の米国テロ後に落ち込んだ団体荷物が回復し、予約状況も好調である。
	変わらない	通信業（従業員）	・一方の取引先が業界から撤退する動きを見せる中、他方の取引先では「オープン・ソース」をキーワードに更なる飛躍を目指しており、両極端の流れがみられる。企業の市場対応力など、本気で取り組んできた「勝ち組」と、ITという言葉だけに反応して何となく参入したまま今日まで自社の強みを発揮できないでいる「負け組」とがハッキリしてきた感がある。今後、業界内での淘汰が進むことが予想されるが、全体としての景気は大きく変わらない。
		通信業（営業担当）	・受注量は現状のまま推移する。
	やや悪くなる	不動産業（支店長）	・景気が良くなる材料がみあたらない。
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる		
	変わらない	職業安定所（職員）	・倒産事業者が対前年比で6.7%増加し、バス会社等では経営悪化による従業員リストラによる雇用不安が発生している。
			・また完全失業率が9.0%と前月比で0.6ポイント悪化し、依然として高水準で推移している。
	やや悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・県内企業だけではなく県外企業の支店等からも、これまでの派遣契約を終了し自社内で対応したいとの申し出があり、非常に厳しい状況となっている。
悪くなる			